
研究2「運動部等学生対象ワークショップ開催」要項

1. 研究の趣旨

現在もしくは将来、運動部などの指導者となる学生を対象として、ワークショップを開催し、スポーツにおける暴力や体罰などの人権侵害について正しく認識させる。

2. 用意するもの

以下をウェブサイト (<http://www.daitairen.or.jp>) からダウンロードして、参加人数分、用意してください。

- (1) 「チェックリスト」
- (2) 質問紙（研究1と同一）
- (3) 「運動部活動の在り方に関する調査研究報告書」（文部科学省、2013年5月27日）

3. 対象学生

- (1) 運動部で指導的な立場にある学生。
- (2) 将来、運動部の指導をしたいと考えている学生。
- (3) 上記に準ずる学生。

4. 研究2（ワークショップ）の実施方法

以下に示すのは、実施方法の一例です。ご自由にアレンジして実施してください。そして、ご提案やうまくいった事例があればご紹介ください。共同研究者で情報交換したいと思います。

- (1) 3人から5人のグループに分け、ディスカッションしやすいように着席させる。
- (2) 高校運動部や日本代表選手の体罰・暴力問題を踏まえて、ワークショップの意義を簡単に説明する。
- (3) 質問紙と「チェックリスト」に回答させる。
- (4) 「チェックリスト」のうち、チェックしにくかった項目や質問紙Q3の回答からいくつかを選び、グループディスカッションさせる。その際に、適宜「運動部活動での指導のガイドライン」の該当箇所を読ませる。
- (5) ワークショップに参加した感想を質問紙の裏面に書かせる。

5. ワークショップの実施報告

ワークショップの実施報告書（別紙）を下記宛に11月30日までに送付してください。

- ・参加大学による実施報告会・検討会を大学体育研究フォーラム（2月開催、武蔵野美術大学）で行います。（参加は義務ではありません。）
- ・参加大学全ての報告をまとめた結果を後日お知らせします。そして、この結果は、大学体育研究フォーラムや機関誌『大学体育』などで報告します。その際には、共同研究参加大学一覧も掲載します。

6. 参加申込・報告書送付・お問い合わせ先

高橋宗良（杏林大学） <muneyosi@ks.kyorin-u.ac.jp>